

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 避難行動要支援者の避難支援強化について</p> <p>【質問趣旨】 災害時の迅速な避難支援を強化するための改正災害対策基本法が5月20日施行された。災害時に支援が必要な高齢者や障害者ら避難行動要支援者ごとの個別避難計画の作成を市町村の努力義務にすることなどが柱となっている。個別避難計画は避難先や経路などを事前に定めることで早期避難を実現するのが目的である。しかし、対象者全員の計画を作成済みの市町村は全国で1割程度にとどまっている。自治体の努力義務化を法律に位置付け計画策定を促すのが狙いである。内閣府では、改正法と並行して、作成経費を支援する新たな地方交付税</p>	<p>(1) 災害弱者の対応について</p> <p>(2) 個別避難計画の策定について</p>	<p>①平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、市町村に対し、要配慮者のうち災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿の作成が義務付けられたが、本市の避難行動要支援者の名簿の作成状況と記載内容について改めて伺う。</p> <p>②名簿の活用イメージはどのようになっているのか伺う。</p> <p>③高齢者の増加に伴い、認知症の方も増加をすることが予測される。そういった方々の多くは要配慮者となるが、認知症高齢者への災害時支援の取り組みについて伺う。</p> <p>④災害時には、安全であって欲しい介護施設等で亡くなられる方も多くみえる。立地条件も原因のひとつと考えられるが、過去の教訓からも、施設関係者個々の、防災力も大きく影響すると考えるが、介護施設における防災力向上の取り組みについて伺う。</p> <p>⑤瀬戸市地域強靱化計画には、避難行動要支援者の支援、避難生活における要配慮者支援、要配慮者に対する福祉支援ネットワークの構築などの記述がある。瀬戸市地域防災計画にも、要配慮者支援対策として、社会福祉施設等における対策、在宅の要配慮者対策、避難行動要支援者対策などの記述があるが、現状の取り組みについてどのように評価しているのか伺う。</p> <p>①個別避難計画についてどのような認識を持っているのか伺う。</p> <p>②瀬戸市地域強靱化計画に「避難行動要支援者名簿の作成や活用、個別計画の策定を推進すること等により、災害時に自ら避難することが困難な者に対し、円滑かつ迅速な避難の確保を図るための支援をする必要がある。」とある。この記述に照らし合わせても個別避難計画の策定は必要不可欠であると考えますが、どのように考えるのか見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>を措置。 今後5年程度で、ハザードマップ上で危険な地域に住んでいる介護が必要な高齢者など、推計250万人の計画策定を優先する。作成が円滑に進むよう、要配慮者の状況を把握している福祉専門職などの連携強化も図る。そこで、本市の避難行動要支援者に対する避難支援の現状と今後の取り組みについて伺う。</p>		<p>③個別避難計画策定に向けた課題は何か伺う。 ④個別避難計画のデジタル化も重要である。庁内での情報交換や、避難所等の地図化、障害種別による避難計画の登録や、広域災害時における消防や警察、自衛隊などの支援者への情報提供など、避難や救助に大変有効であると考えているが、どのように考えるのか見解を伺う。 ⑤愛知県は、「市町村のための災害時要配慮者支援体制構築マニュアル」を策定したり、昨年12月に、市町村における計画の策定状況や計画策定推進に向けた取り組みの調査を行い、好事例を市町村へ周知しているが、それらをどのように活用しているのか伺う。 ⑥災害時における、避難行動要支援者に係る個別避難計画の策定に向け、今後どのように進めていくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。